

くにさき少年少  
女発明クラブ  
事務局発行

# 発明クラブ通信



## 今年度20名入会!

### 第9回発明クラブが始まり

ました。コロナ感染に最大限の注意を

#### 会員証代表授与～<sup>こうの</sup>河野さん

8月8日(土)に、今年度発明クラブの開講式が、コロナウィルスの影響により約3か月おくれでスタートしました。今年は3密にならないように、会場が広い国東中央公民館アグリホールで開催しました。人数も20名に限定。机には一人ずつ、マスクや消毒をしての開講式でした。最初に、市教育長の加藤正和発明クラブ会長より、会員を代表して安岐中央小学校の河野さんに会員証が渡されました。続いて会長より、11月に予定されている「月面探査体験」の計画や「ルールやマナーを守ってすばらしい発明をしてほしい」とあいさつがありました。



#### 会員代表決意表明～<sup>くりた</sup>栗田さん

次に指導者の皆さんを代表して、クラブ顧問でもあります郷司信義選任指導員より激励のあいさつを頂きました。皆さんの思いにこ



たえて、国東小学校の栗田さんが会員を代表して、お互い力を合わせ安全に活動していく決意を、元気よく表明し

てくれました。立派な態度に、会場からは大きな拍手が送られました。開講式後、会員の自己紹介があり、学校名と学年さらに将来なりたい夢など順番に語ってもらいました。

### 第1回講座がスタート

#### 手づくりフェイスシールドにチャレンジ

今年度最大の出来事は、毎日ニュースになっているコロナウィルス感染拡大です。まずは会員が少しでも安全に受講できるように、「フェイスシールドづくり」に挑戦しました。身近にある材料をつかって15分程で完成しました。講座では、このシールドを毎回使っていきます。



(テープで貼り付け)



(とても似合っています!)

### とびだせ 空気砲!

続いて空気の力を利用した空気砲づくりにとりくみました。最初に段ボールで作った大きな空気砲で、空気の動きが見えるように、線香の煙を飛ばしてみました。さらに空気砲でローソク約50本の火を何本消せるか、順番に全員チャレンジしました。全部消した人はいませんでした。遠く離れたローソクの火を消せる力を持



(↑空気砲の様子) (両手でたたいて発射)  
った空気の力を学びました。この力を利用して、物を飛ばすミニ空気砲づくりにチャレンジ。

半分に切ったペットボトルを使ってミニ空気



砲を各自で作り、発泡スチロールの玉を飛ばしてみました。ペットボトルに風船をつけるのが大変でしたが、完成し

(↑ペットボトルを切るのも大変?)

た空気砲で高く飛ばせることに大喜びの様子でした。空気の力をいかして、ほかにもいろ



んな楽しい道具を発明してみてください。空気砲でコロナウィルスも吹き飛ばせるといいですね。

↑ (真上にむけて飛ばしてみました。大成功)

↓ (今回作ったミニ空気砲とフェイスシールド)



## 「くにさき生涯フェスタ」主催発明くふう展について

今年は、コロナの影響で、県発明くふう展の作品づくりに取り組む講座時間がないので、県くふう展出品は自由参加としました。それとは別に、2月13日(土)予定の「生涯フェスタ」時に、「発明くふう作品展」をアスト3階ギャラリーで計画しています。優秀な作品には、会長賞が渡されます(フェスタ中止の場合は、発明クラブ主催で展示会を実施)。この作品展には、クラブ員全員の作品を展示する予定です。それまでに完成するように、今からアイデアを考えておいてください。県のくふう展と同じように作品説明書が、申し込み用紙のかわりになります。

◆作品説明書と作品締め切り日 1月29日(金)

### (11月講座の予定おしらせ)

11月21日(土)「宇宙技術および科学の国際シンポジウム」(略称 ISTS)

□内容～・「月に行こう」の話

・小型月面探査車体験



### <お願い>

県内でも、コロナウィルス感染が広がっています。クラブでの感染予防対策にご協力をお願いします。

特に、健康観察表で体調確認・手指消毒・マスク着用・フェイスシールド(クラブで作成済み)着用

家庭でも同じように、十分な注意をお願いします。